平高新聞



発行:長崎県立平戸高等学校学務部

令和4年 | 0月3 | 日

校長室から

「常夜鍋」のつくり方

でした!」と声をかけられました。25年前のこと せませんでした。吉田さんは「先生は覚えていないか」なりません。苦しい思いをしながらご飯を食べても、 たのを覚えていますよ」と続けました。学校新聞に確のために一生懸命に食べています。 かに常夜鍋について書いたことがあります。

けて食べる料理です。一説では、毎日食べても飽きが 来ないということで名付けられたそうです。もちろ ん、豆腐や水菜などを入れてもいい。ポン酢に大根お ろしや生姜おろしを入れても美味しい。島原高校の生 徒は、ほぼ全員が卒業すると自宅を離れます。突然自 炊することになり戸惑う生徒もいるかと思い、"土鍋 が一つあれば生きていけるよ!"と、"安心して逞し く生きて行きなさい"と、言いたかったのだと思いま す。

たい言葉を贈るべきだったのかもしれませんが、これ みようと思います。 でも、かなり熟考してつくりました。素直に、「生き る≒食べる」だと感じていました。「食べるために働

校長 峰 董

県内の公立高校の校長とPTA会長との会議で、島 く」という表現がありますが、まさに食べなくていい 原高校の吉田PTA会長に、「高3の時の担任が先生 のならば、働くことも、コミュニケーションをとるこ とも必要ありません。胃がんの手術をした知り合い で、申し訳ないのですが、なかなか当時の顔が思い出 は、朝ご飯を2時間かけて、ゆっくりと食べなければ もしれませんが、私は、先生が卒業生に贈る言葉とし 栄養失調だと食べる量や種類を増やすようにアドバイ て、常夜鍋(じょうやなべ)のつくり方を教えてくれ スを受けるそうです。食べることがつらくても、家族

25年前の「常夜鍋」を覚えてくれていて、嬉し 常夜鍋は、豚肉とほうれん草をゆでて、ポン酢につ いような恥ずかしいような気持ちでした。25年後、 「生きる≒食べる」という思いは、どんどん強くなり ます。世界には、紛争や干ばつで、食べるために学校 に行けない子どもたちがいます。困窮やネグレクトに よって食事のリズムが確立できていない子どもたちの ための"子ども食堂"の開設は5000箇所に届こう としています。日本人の22万人が摂食障害(過食・ 拒食)を患っているというデータもあります。

「生きることは食べることだ」と考えるとき、 「食べる」を支えてくれる人々への感謝の思いが自然 国語の教師なのだから、もっと気の利いた、ありが と生まれてきます。久しぶりに「常夜鍋」をつくって

生徒会役員任命式

I 0月3日(月)に生徒会役員任命式がありました。 生徒会長に日高凛さん(2年)、副会長に前川美敬さん (2年)、竹田連さん(1年)が就任しました。

新生徒会役員のIO名を中心に平戸高校をより楽しい 学校にしてくれることを期待しています。



防犯標語コンクール

松尾柚香さん(3年)が、長崎県の防犯標語コ ンクールで最優秀賞を受賞し、平戸警察署長よ り、表彰状を受け取りました。

力 铺 対 関 入る わ る



第48回 体育祭

第76~1人1役全員主役~

Ⅰ0月Ⅰ6日(日)に第48回体育祭が行われました。

今年も平戸音頭・田助ハイヤ節では、生徒たちは浴衣やはっぴを着て、華やかに踊りました。騎馬戦や逃げるかごを追え等、今年初の競技もたくさんあり、生徒たちはとても楽しんでいました。綱引きでは、生徒だけではなく、保護者の方々にもご協力いただき、白熱した試合になりました。応援合戦も赤団・青団の3年生が準備から指導までリーダーシップを発揮しながら、練習して

ちはとても楽しんでいました。綱引きでは、生徒だけではなく、保護者の方々にもご協力いただき、白熱した試合になりました。応援合戦も赤団・青団の3年生が準備から指導までリーダーシップを発揮しながら、練習してきました。その成果もあり、どちらも堂々とした演舞ができました。生徒・保護者の方々・教員が一丸となって、充実した体育祭になりました。ご協力ありがとうございました。



ジョブガイダンス

I ○月4日(火)にI, 2年生を対象にジョブガイダンスを行いました。今回は複数の上級学校に来てもらい、自分の興味のある分野の学校の説明を聞きました。今回のガイダンスを受け、生徒たちは進路決定に向けて真剣に考えていました。





11月の主な行事

2日(水)ふるさと学習講演会

11日(金) しおかぜ総文祭開会式

14日(月)長崎っ子の心を見つめる教育週間(~18日) 人権同和教育

15日(火)防災避難訓練

16日(水)平戸市企業バスツアー(2年)

24日(木)考查時間割発表

12月1日(木)~2学期末考査



